

えんちょう通信

No.55

令和3年11月4日

福島市立清水幼稚園

発行者 佐藤 一男

引率ボランティア、ありがとうございました

10月29日(金)に子どもたち、そして先生方も待ちに待っていた『THEドラえもん展』を見に行きました。飯坂線の泉駅を午前9時16分発の電車に乗り、美術館図書館前駅に9時20分に着きました。わずか4分間の電車の旅ですが、子どもたちは乗客の方に「どこに行くの?」などと声をかけられて、とても嬉しそうです。そして電車から降りると電車に向かって「バイバーイ!」と何度も手を振っていました。駅を出て、きれいに色づいた街路樹の下を歩いて美術館に到着です。



たくさんの方が並んでいましたが、予約していたのですぐに中に入ることができました。ドラえもんの大きくて色鮮やかな作品がたくさん並んでいて、子どもたちは「ワーッ、すごい!」と目を丸くしていました。今回も、3名の保護者の方に引率ボランティアとして参加していただきましたので、その感想を紹介します。

- 美術館に到着して、先生が「ひまわりさん」と声をかけると、みんな一斉に「はーい。」と先生の方を向いていました。ワクワクドキドキしている中でも、ちゃんと周りの声を聞いているんだなと感心しました。子どもたちにも触れ合えて、楽しいというだけじゃなくて、園外のことは引率の機会だからこそ知ることができる発見の場でもあると思いました。
- (引率ボランティアとして参加してみて) 普段見られない子どもたちの様子を近くで見られて、また子どもたちとコミュニケーションもたくさんとれて、とてもいい機会だと思いました。電車の中や美術館の中でも、みんな騒がしくすることなく、でも楽しそうな様子は伝わってきて、いいなと思いました。私自身も楽しかったです。
- 園外では、うれしくなってもっと自由に動き回る子がいると思っていましたが、思っていたのとまったく違って、先生の話聞いて、一列になって歩いていたのでびっくりしました。これだけの人数を一人一人の安全を考えて引率するのは大変だと、普段の先生たちの苦勞が少しわかったような気がしました。いつもありがとうございます。集団の中での子ども様子を間近で見ることができる貴重な機会だと思いますので、これからも続けて欲しいと思います。



引率ボランティアのお母さん方のおかげで、けが等もなく充実した園外保育となりました。

今回のように引率ボランティアを通して、保護者の皆様に、園外での子どもたちの様子や先生方の指導の様子を実際に見ていただくことは、幼稚園の教育に対する理解を深めていただくためにも、とても大切なことだと考えています。